

乙見湖休憩舎 ドイツトウヒ林

本州最大の規模を誇るこのヨーロッパトウヒ林は、地元の水源保全を目的とした新潟県（にいがたけん）の取り組みの一環として 1984 年に植えられたものである。笹ヶ峰牧場（ささがみねぼくじょう）入口から関川（せきがわ）近くまでの 60 ヘクタールが約 1 万本の木に覆われている。木の高さは平均 20 メートルで、中には直径が 40 センチメートルを超えるものもある。また、この一帯にはカラマツの木もあちこちに点在している。

ヨーロッパトウヒ（別名ノルウェートウヒ、ドイツトウヒ、アルプストウヒ、イタリアトウヒ）は剛性重量比が大きいことから、家具およびバイオリンやギターの響板としての使用に最適である。また、クリスマスツリーとしても使われるほか、長さ約 20 センチメートルまで育つその球果は、クリスマスリースに使われる。